

平成 30 年度 第 62 回日本読書学会大会プログラム

日程：2018 年 7 月 29 日（日） 10：00～18：30

〈10:00～〉受付

〈10:30～12:00〉個人研究発表

第一会場（603 号室） / 第二会場（604 号室）

〈12:10～13:40〉理事会（603 号室）

〈13:50～14:20〉総会（604 号室）

〈14:20～14:40〉表彰式（604 号室）

〈14:50～16:20〉個人研究発表

第一会場（603 号室） / 第二会場（604 号室）

〈17:00～18:30〉懇親会（502 号室）

※懇親会は研究情報交換会と交流親睦の会にしたいと思います。多くの方のご参加をお待ち申し上げます。

場所：林野会館（東京都文京区大塚 3 丁目 28 番 7 号 電話 03-3945-6871）

* 地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅から徒歩 7 分、筑波大学附属小学校正門近く

<http://rinyakaikan.or.jp/index.html>

参加費：会員 3000 円、非会員 3500 円、学生 2000 円

懇親会費：2000 円

*いずれも当日のみ受付いたします。

大会実行委員会

実行委員長：甲斐雄一郎（筑波大学）

副実行委員長：藤森裕治（信州大学）

事務局長：長田友紀（筑波大学）

実行委員：宮澤優弥（筑波大学）

プログラム： *20分発表、10分質疑応答

〈10:30~12:00〉個人研究発表

第一会場【603号室】 司会：藤森裕治（信州大学）・深谷優子（東北大学）

- ① 日本人大学生はどのようにテキストを理解しているか —情報の重要度に焦点を当てて—
山方純子（早稲田大学）・李榮（神田外語大学）
- ② 大学初年次教育における「俯瞰的多読と比較レポート」の実践
—計量テキスト分析による学生の気づきの検討—
牧恵子（愛知教育大学）・中村康則（株式会社 SCREEN アドバンストシステムソリューションズ）
周景龍（株式会社 SCREEN アドバンストシステムソリューションズ）

第二会場【604号室】 司会：桑原隆（筑波大学）・福田由紀（法政大学）

- ① 「創造的読書のパターン・ランゲージ」を用いた読書教育の検討
中学校図書館における『Life with Reading—読書の秘訣カード』の活用を通して
庭井史絵（慶應義塾普通部）
- ② 自立した読者を育てる読書教育 —幼稚園「言葉」の教育をスタートに—
谷本寛文（京都光華女子大学）
- ③ 小中高校生の読書における学校等の環境の影響：全国調査から
濱田秀行（群馬大学）・秋田喜代美（東京大学）

〈12:10~13:40〉理事会【603号室】

〈13:50~14:20〉総会【604号室】

〈14:20~14:40〉表彰式【604号室】

〈14:50~16:20〉個人研究発表

第一会場【603号室】 司会：上谷順三郎（鹿児島大学）・藤木大介（広島大学）

- ① 「矛盾」に着目した読みの基礎的研究 —小学校文学教材を通して—
千種彰典（兵庫教育大学連合大学院）
- ② 小学校理科・生活科における科学読物の研究 —授業や教職員研修の活用を通して—
仲井勝巳（豊中市立桜井谷東小学校）
- ③ 子供が綴った文章に接することの心性 —小砂丘忠義の綴方指導を参照して—
飯田和明（宇都宮大学）

第二会場【604号室】 司会：塚田泰彦（関西外国語大学）・荷方邦夫（金沢美術工芸大学）

- ① 教師と学校司書の協働が授業に与える影響
新居池津子（東京大学大学院）
- ② 授業における教師のリヴォイシングの活用 —授業内容と教師の指導観に着目して—
中田順子（東京学芸大学大学院）・梶井芳明（東京学芸大学）
- ③ 感情への気づきを促す教育プログラムの効果 —伝える力の促進—
山本晃（国立特別支援教育総合研究所）・遠藤寛子（宮城学院女子大学）

〈17:00~18:30〉懇親会【502号室】

*大会参加者には「発表要旨集」を配布いたしますが、さらにご希望の方には1部2000円で当日販売いたします。なお、郵送をご希望の方は以下の事務局まで送付先などをお申し込みのうえ、送料込み2500円を学会の口座までお振り込み下さい。

日本読書学会事務局（大会関連のお問い合わせはこちらへ）

〒305-8572

茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学人間系教育学域 人文科教育学研究室 気付

日本読書学会事務局

Email : jra.jimu@gmail.com

URL: <http://www.gakkai.ac/jra/>

郵便振替口座番号：00160-4-790648

郵便振替口座名称：日本読書学会

会場マップ 林野会館（旧全林野会館）



読書科学投稿へのお誘い

ただいま、「読書科学」編集委員会では皆様からの論文投稿を熱望しております。

テーマは読書活動のみならず、読む・書くといったディスコース全般、国語教育に関わるすべてのことが対象となり、間口は非常に広い学術雑誌です。また、基礎的な研究だけでなく、実践研究も大歓迎です。

投稿してから1ヶ月足らずで査読結果がお手元に届きます。このタイミングは日本の査読誌では、群を抜いて早い対応といえます。また、きめ細かく査読をしていきます。

読書やディスコースに関するデータを持っているけれど、どこに出したらいいか迷っている方はどうぞ、お気軽に「読書科学」にご投稿下さい。また、そのような方が身近にいらっしゃる場合には投稿を勧めて下さい。

編集委員会は、皆様の研究を支え、日本における読書にまつわる研究の隆盛を図りたいと希望しています。

投稿の手続きの詳細に関しては、「日本読書学会」の「雑誌「読書科学」」(<http://www.gakkai.ac/jra/journal/>)をご覧ください。

◎国際学会発表支援事業について

会員による国際学会発表に対して日本読書学会として支援する事業を本年度も募集します。支援内容は、海外渡航費の一部について、毎年度5名を限度として、一人最大10万円を上限として支援します。発表の様子は『読書科学』誌にて報告していただくこととなります。ぜひご活用いただきたいと思います。詳しくは学会ホームページをご覧ください。